

主体的に地域の課題解決に参画しようとする力を育てる 社会科学習指導

～日本の諸地域での学びを地域に還元するパフォーマンス課題を通して～

1 主題設定の理由

(1) 社会の要請から

- ・VUCAの時代
- ・OECDラーニングコンパス
 - ・・・エージェンシー
- ・次期教育振興計画
 - ・・・主体的に社会の形成に参画しようとする態度

(2) 生徒の実態

- ・地域参画への意識・・・高
- ・地域を多面的・多角的に見る
 - ・・・課題

2 主題・副題

主題「主体的に地域の課題解決に参画しようとする力を育てる社会科学習指導」について

地域の課題を自分事として捉え、地域の課題解決に自ら関わろうとする態度
について

地理的分野「日本の諸地域」の学習を通して育成すること。

副主題「日本の諸地域での学びを地域に還元するパフォーマンス課題を通して」について

地理的分野「日本の諸地域」の学習において

東郷で生活する住民の立場として、「各地方で学習した地域の課題解決策」を地
域に伝える「パフォーマンス課題（以下、PT）」を

「大単元を貫く課題」として設定した学習を行うこと

3 研究の仮説

学習そのもの
の価値
(仮説-ア)

社会参画の経験となる真正性の高いPT

単元構成
(仮説-イ)

PTの解決に向けた単元構成

真正性を高める
工夫
(仮説-ウ)

真正性を高める学校外人材(GT)の活用

研究目標
の達成

3 研究の内容

(1) パフォーマンス課題 (PT (Performance Task)) について (仮説-ア)

① PTの内容について

今日聞いた話のように、地域の方々には東郷に「思い・願い」を持っています。地域の方々はその思い・願いをあなたたちと一緒に実現したいと考えています。その思いに応えるために、日本の7つの地方での学びを生かした地域の課題の解決策を考え、地域の方に報告してください。

3 研究の内容

(1) パフォーマンス課題 (PT (Performance Task)) について (仮説-ア)

② 課題の真正性をより高める場面の設定

課題提示

生徒が課題と出会う場を真正なものに

工夫の調査

調査で各地方の方々に協力してもらうことで調査活動を真正なものに

報告の場

課題解決の場も真正なものに

3 研究の内容

(2) 単元構成における工夫(仮説-I)

① 大単元を貫くPTの提示について

単元冒頭に提示

- ・大単元全体に真正性を与える。
- ・大単元を貫く課題としての機能(「日本の諸地域」を学ぶ必然性に)

課題(PT)を
とらえる

日本の諸地域の課題
解決策をとらえる
(「日本の諸地域」)

地域の課題解決策
を構想する

構想した解決策を
地域に伝える

3 研究の内容

(2) 単元構成における工夫(仮説-I)

② 単元を貫く課題として機能させるための手立て

単元で獲得すべき概念・
方略を単元の目標として設
定

「問い」化し、構造的に整理

構造化された問いを包括した
PTを設定

概念的知識

説明的知識

事実的知識

- ・日本の各地域の地域的特色はどのように生じるか。
- ・日本で見られる地域の課題にはどのようなものがあり、どのように生じるのか。
- ・地域的特色を生かした地域課題の解決のためにどのような方法があるか。
- ・地域の課題を解決するために必要なことは何か。
- ・他の地域の課題解決策を私たちの地域に転用するにはどうすればよいのか。
- ・地域づくりや課題解決における人々(私たち)の役割とは何か。

- ・〇〇地方の(自然環境・人口や都市・村落・産業・交通)における特色にはどのようなものがあるか。
- ・〇〇地方の(自然環境・人口や都市・村落・産業・交通)における課題にはどのようなものがあるか。
- ・〇〇地方の(自然環境・人口や都市・村落・産業・交通)における事象や課題解決で、人々はどういう工夫をしていたか。
- ・私たちの地域にはどのような特色や課題があるか。
- ・私たちの地域の課題を解決するためにどのような方法があるか。
- ・地域に自分たちの考えを伝えるためにどのような方法があるか。

- ・私たちの地域で盛んな産業は何か。
- ・私たちの地域の人口はどこに集中しているか。
- ・私たちの地域にはどのような自然環境があるか。
- ・私たちの地域の交通網はどのような状況か。
- ・(九州地方)再生可能エネルギーとは何か、公害とは何か・・・
- ・(中国・四国地方)ストロー現象とは何か、町・村おこしとは何か・・・
- ・(近畿地方)再開発とは何か、過疎化とは何か・・・
- ・(中部地方)伝統産業、地場産業にはどのようなものがあるか・・・
- ・(関東地方)ドーナツ化とは何か、近郊農業とは何か・・・
- ・(東北地方)伝統行事にはどのようなものがあるか・・・
- ・(北海道地方)ロードヒーティングとは何か、エコツーリズムとは何か・・・

3 研究の内容

(2) 単元構成における工夫(仮説-I)

③ 小単元を貫く問いを機能させるための手立て

学習過程
小単元を貫く課題をとらえる段階
地域の特色を捉える段階
地域の課題や工夫を捉える段階
人々の工夫を捉える段階(GTからの講話)
生かす・まとめる・振り返る

学習活動
課題を確認する
地域の特色(気候・産業)について調べる
地域の課題や工夫について教科書やwebで調べる
地域の人々の工夫や思いを捉える
東郷に生かすことについてキーワードで整理する
課題を確認する

中国・四国地方 () 第() 巻() 第() 章() 第() 節() 第() 項()

研究を貫く課題 地域の方々は東郷村をよりよくするために「思い」を持って、地域の方々はその思い「思い」を私たちと一緒に実現したいと考えています。その思いにつながるために、東郷村にある自然や産業の良さを活かし、東郷村の課題を解決する方法を本単元の7つの地方の学びから見つけ、東郷村をあげてデザインとして地域の良さを活かして欲しい。

研究を貫く問い(問い)

東郷村を貫く問い ① 中国・四国地方をめぐって ② 東郷村の自然や産業の良さを活かすには、どのような方法があるのだろうか? ③ 地域の課題や工夫 ④ 東郷村の自然や産業の良さを活かすには、どのような方法があるのだろうか? ⑤ 東郷村の課題や工夫について調べる ⑥ 東郷村の人々の工夫や思いを捉える ⑦ 東郷村に生かすことについてキーワードで整理する

中国・四国地方の特色 ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村の特色 ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村の課題や工夫 ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村の人々の工夫や思い ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村に生かすことについて ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

← 表

裏 →

中国・四国地方の特色 ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村の特色 ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村の課題や工夫 ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村の人々の工夫や思い ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

東郷村に生かすことについて ① 気候・気象 ② 産業 ③ 自然環境 ④ 人口・人口減少 ⑤ 高齢化 ⑥ 交通 ⑦ 観光

3 研究の内容

(3) 外部人材と協働した学習の設定(仮説-U)

①② 地域の人々・各地方GTと協働した学習の設定



大単元を貫く課題の提示・解決場面

→ 提示主体・発表対象に地域で課題解決にあたるGT



各地方の特色の調査

→ 各地方で課題解決にあたるGT

4 研究の実際

(1) 地域の課題や思い・願いをとらえる段階（第一次）



日本の諸地域の見通し

GTによる大単元を貫くPTの提示

- ・・・GT自身の取り組みとその中で困り感
→PTの提示（生徒への切実な依頼）

大単元を貫くPTの解決の見通し

・・・「問い」の生成、整理

4 研究の実際

(2) 課題と工夫をとらえる段階(第二次) ※中国・四国地方を例に

学習過程

小単元を貫く
とらえる

地域の特色を
捉える段階

地域の課題を
捉える段階

人々の工夫を
捉える段階(GTから)

生かす・まとめる



意識を持つ。
る中国四国地方はどのような特色があ

協長野さん)

4 研究の実際

(2) 課題と工夫をとらえる段階(第二次) ※中国・四国地方を例に

学習過程

小单元を貫く課題をとらえる段階

地域の特色を捉える段階

地域の課題や工夫を捉える段階

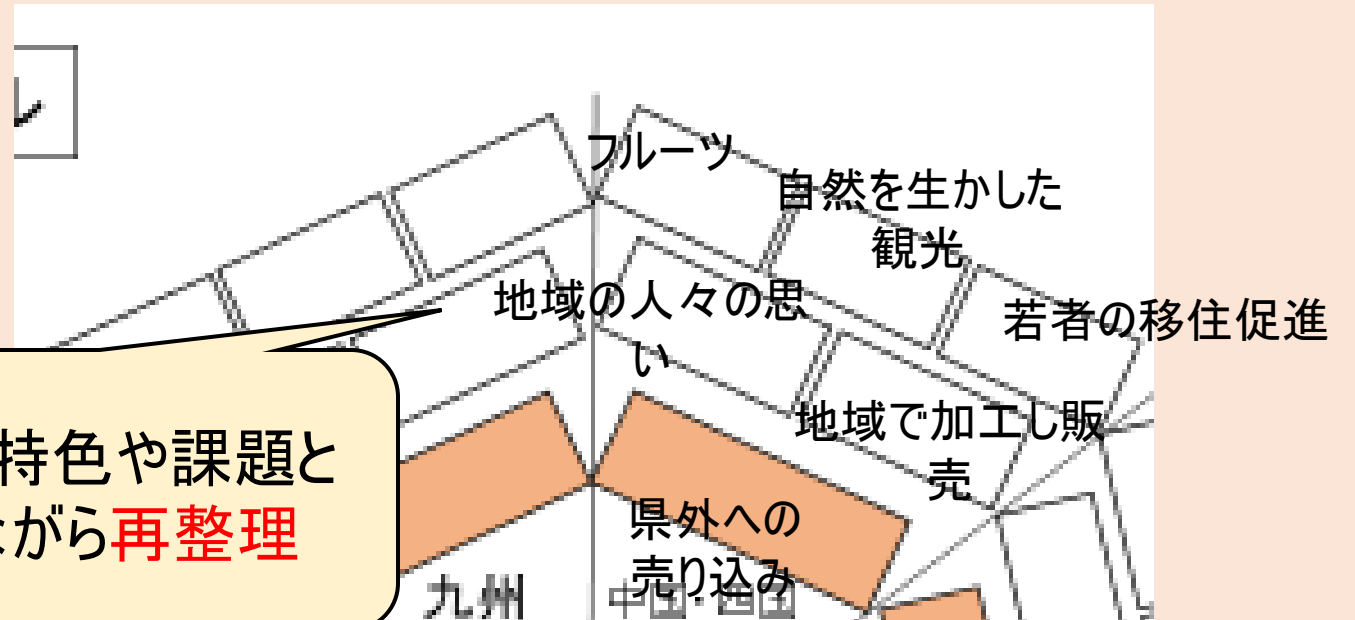
人々の工夫を捉える段階(GTからの講話)

生かす・まとめる・振り返る

まとめる(本時)

- ・馬路村の村おこしが成功した要因をキーワードで整理。(キーワードはそれまでの毎時で確認する)
- ・地域への報告に向けて、東郷町に 응용できるように再整理。

東郷町の特徴や課題と比較しながら**再整理**



4 研究の実際

(2) 課題と工夫をとらえる段階(第二次)

学習過程
小单元を貫く課題をとらえる段階
地域の特色を捉える段階
地域の課題や工夫を捉える段階
人々の工夫を捉える段階 (GTからの講話)
生かす・まとめる・振り返る

GTについて

GTへのオファー・・・3～6ヶ月前から

GTの選定基準・・・公的機関を中心に、考察の視点に係る課題解決にあたっていること

GTを招聘できなかった单元・・・GTからの講話を除いた形で実施

場面	GT
課題設定	地域
九州	高森町
中国四国	馬路村
中部	鯖江市
北海道	夕張市
課題報告	地域

4 研究の実際

(3) 地域の課題解決策を構想・伝える段階(第三次)

私たちが考えた東郷町へのアドバイスは・・・

東郷町の
特色

東郷町の
課題

日本の諸地域で学んだ課題解決策

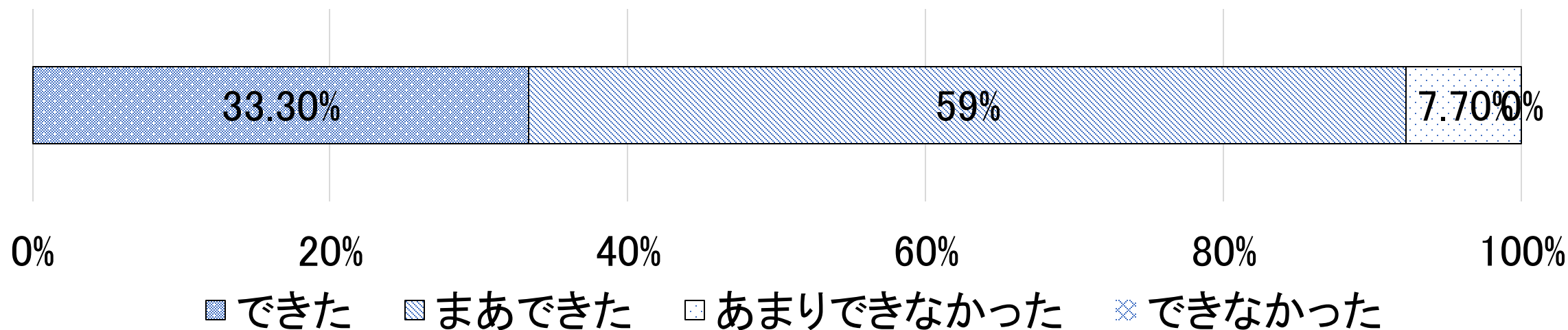
東郷町の将来について構想



5 研究の考察

(1) 大単元を貫くPTについて

問：日本の諸地域の学習で、課題（地域へのアドバイスを考える）について意識しながら学習に取り組むことができましたか。



5 研究の考察

(2) 学習過程について

① 生徒の記述から

小単元内での記述の変容(中国・四国地方)

小単元3時のまとめ	小単元4時のまとめ	小単元5時のまとめ
<p>馬路村の工夫</p>	<p>馬路村の工夫 + 人々の対応 (思い)</p>	<p>課題(人口) ↓ 馬路村の工夫 + 人々の対応 (思い)</p>

5 研究の考察

(2) 学習過程について

① 生徒の記述から

単元末でのまとめ(一部)



5 研究の考察

(2) 学習過程について

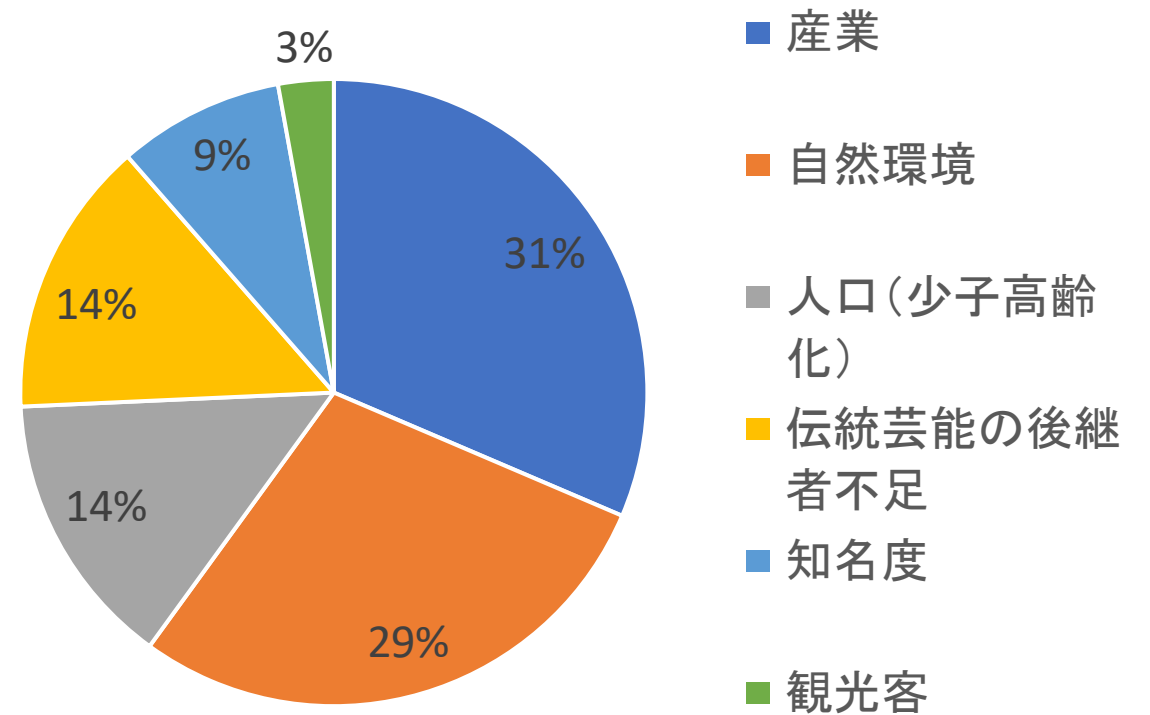
① 生徒の記述から

大単元末でのアドバイス

私たちが考える東郷の特色を生かしたアドバイス

- 東郷を生かした加工品が少ない→加工品を作る場所を作り、SNSを使いブランド化してみる。また、県外に販売して、その商品の名前に地域の名前を使う
- 自然を生かしていない→自然を生かした観光スポットを作り、その近くにお店を作ったらいいと思う

生徒が取り上げた課題



5 研究の考察

(2) 学習過程について

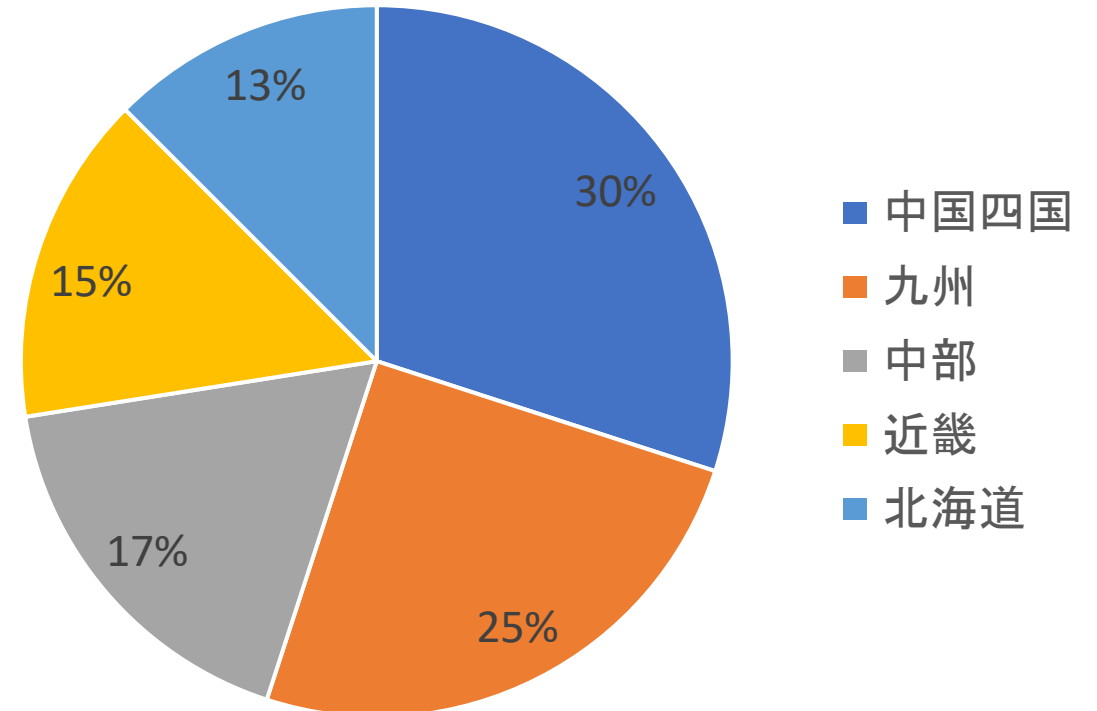
① 生徒の記述から

大単元末でのアドバイス

私たちが考える東郷の特色を生かしたアドバイス

- 東郷を生かした加工品が少ない→加工品を作る場所を作り、SNSを使いブランド化してみる。また、県外に販売して、その商品の名前に地域の名前を使う
- 自然を生かしていない→自然を生かした観光スポットを作り、その近くにお店を作ったらいいと思う

解決策の参考にした地域区分

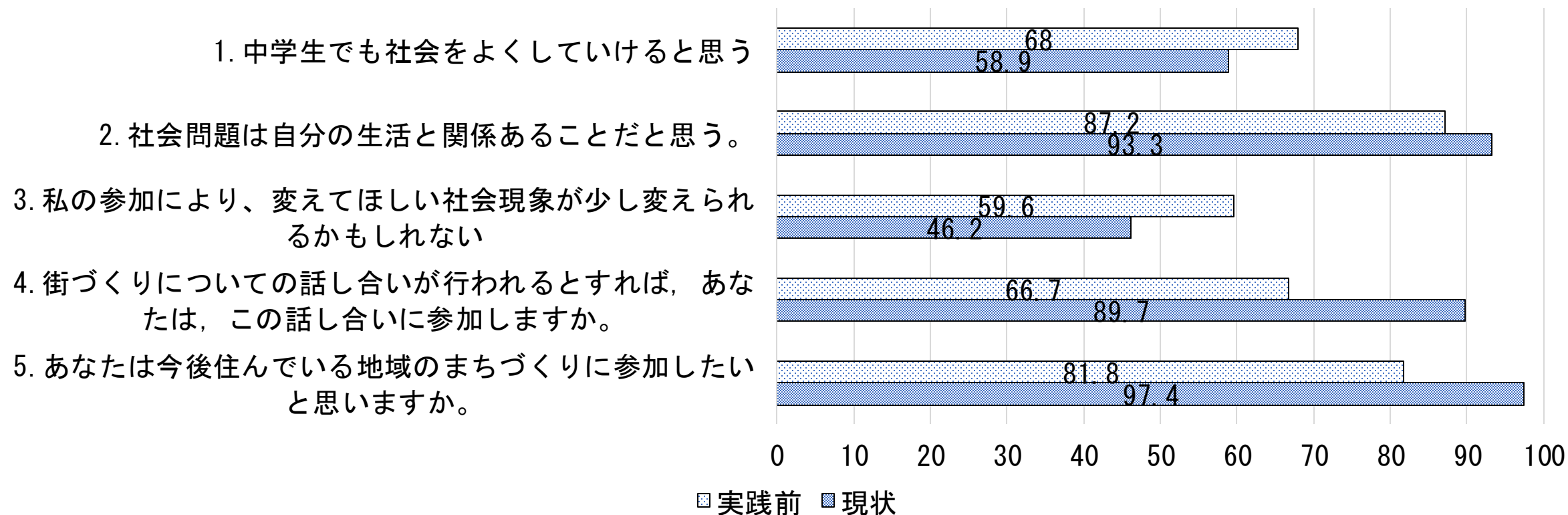


5 研究の考察

(2) 学習過程について

① 意識調査から

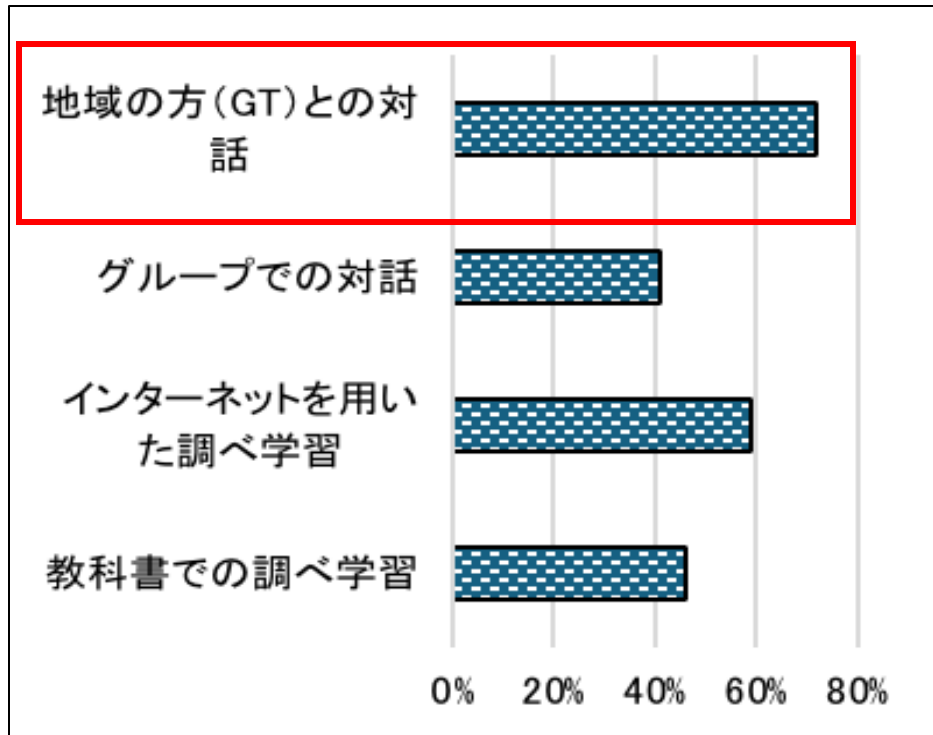
【図7】実践を通じた生徒の住民自治に関する意識の変容



5 研究の考察

(2) 外部人材との協働について

問：日本の諸地域の課題や工夫を捉えるために、どの活動が最も自分の学びに繋がりましたか。



問：GTとの対話を選んだ理由

- ・教科書とかで見るとよりも説得力を感じられるようになる。その地域についてもっと知りたいなという気持ちになる。
- ・その地域の人から聞くことでその人たちの思いや、その地域の人しか知らないその地域の課題や人々の思いが伝わるから。

6 成果と課題

(1) 成果

学習そのもの
の価値
(仮説-ア)

PTの下での学習・・・地域の工夫を
支える人々との触れ合い
→学習全体に目的意識・真正性

単元構成
(仮説-イ)

第一次でのPTの提示
→2次以降の学習に明確な目的

真正性を高める
工夫
(仮説-ウ)

GTとの対話
→非言語的な情報
→高次な概念形成

研究目標
の達成

6 成果と課題

(2) 課題

学習そのもの
の価値
(仮説-ア)

- ・3ヶ月という長期間を貫く難しさ
- ・課題意識の低下(最低限に抑えたが)は否めない

単元構成
(仮説-イ)

意識調査での「社会参画の有用感」に係る項目の低下

真正性を高める
工夫
(仮説-ウ)

GTを招聘できない単元の扱い